

第97期 中間報告書

2026.1.1 ▶ 2026.6.30

市光工業株式会社

企業価値を高めて株主の皆さまへの利益還元の向上を実施いたします



代表取締役社長CEO

Christophe Vilatte ヴィラット クリストフ

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや堅調な設備投資に支えられ緩やかな回復が続いた一方で、中東情勢を受けた資源高や物価上昇、海外景気の不透明感が懸念材料となりました。米国では、設備投資や自動車などが牽引した個人消費で民間内需の堅調さがみられるものの、輸入急増による外需の下押しや高金利の影響など、成長ペースの鈍化傾向もみられました。

アセアンでは、マレーシアの景気は世界的なAI需要の拡大を背景に、半導体や電子部品の輸出が大幅に増加し、外需主導で持ち直しました。インドネシアは景気の持ち直しがみられるものの、インフレ再燃リスクが浮上しました。タイの景気は外需の好調と物価高による内需の下押し圧力が交錯する展開となりました。

当中間連結会計期間における自動車生産台数は、当社主力の日本国内は、サプライチェーンの正常化等により前年同期比で増加しました。また、アセアンの自動車生産は、タイが国内低迷や輸出減で生産減少が続いた一方、マレーシアは堅調な個人消費を背景に増加、インドネシアも反動増で持ち直すなど、国ごとに強弱の分かれる推移となりました。

このような状況のもと、当中間連結会計期間では、円安の進展による為替換算影響や、一部顧客からの前倒し需要、金型売上の増加などにより、売上高は59,772百万円（前年同期比7.6%増）となりました。利益面では、これら増収による効果に加え、関係会社からの過去の開発費用等の回収といった一時的な収益貢献もあり、原材料費の高騰を補完し、営業利益は3,759百万円（前年同期比40.0%増）、経常利益は4,893百万円（前年同期比33.6%増）、前期における事業構造改善費用等が今期はなくなったことにより親会社株主に帰属する中間純利益は3,759百万円（前年同期比44.7%増）となり、増収増益の結果となりました。

なお、中間配当につきましては、株主の皆さまへの利益還元の向上を図る観点から、2025年6月期の7円から2円増配し、9円とさせていただきます。

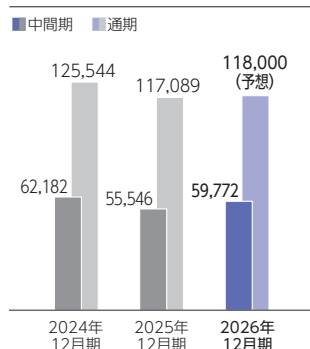
また、2026年12月期通期の業績予想につきましては、売上高は118,000百万円、営業利益は5,900百万円、経常利益は6,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,000百万円と予想しております。

2026年12月期の配当に関しましては、厳しい外部環境が続きますが配当性向および株主資本配当率（DOE）の向上など株主還元を総合的に勘案し、2025年12月期の14円から4円増配の年間配当18円を予定しております。

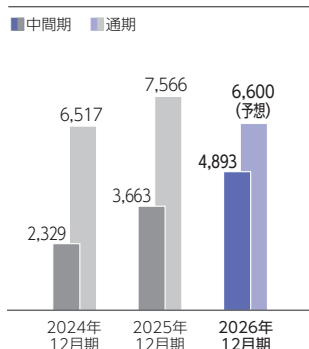
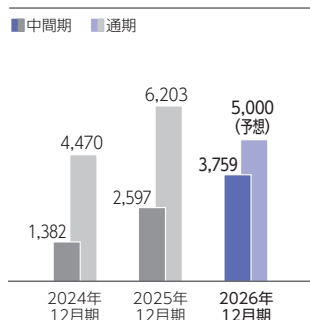
株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

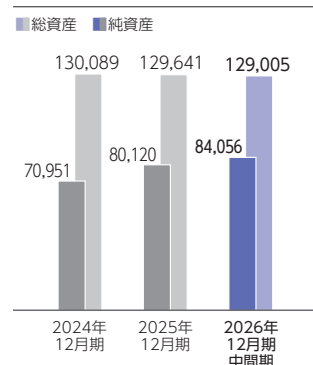
売上高 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)

親会社株主に帰属する
中間 (当期) 純利益 (単位：百万円)

総資産・純資産 (単位：百万円)





株主・投資家のみなさまへ



当社IRサイトでは、最新の決算資料や財務ハイライト、統合報告書など、株主の皆さまに向けた詳細な情報を随時公開しております。

IR説明会資料



当社の業績や今後の取り組みを詳しく解説した「決算説明会資料」や「中間決算説明会資料」等のIR資料を掲載しております。

統合報告書



中長期的な価値創造に向けた当社のビジョンや、サステナビリティに関する取り組みを網羅した「統合報告書」をご覧ください。

トピックス

人とくるまのテクノロジー展2026 YOKOHAMA 出展

持続可能なモビリティ社会の実現へ 環境テクノロジーと先進ライティングの融合



ICHIKOH ブース

ICHIKOHは、2026年5月に開催された「人とくるまのテクノロジー展2026 YOKOHAMA」において、「未来のクルマはより安全に、ソフトウェア・ドリブンに、そしてサステナブルに」をテーマに掲げ、当社の最先端ライティング技術を披露しました。

特に注目を集めたのは、ソフトウェアの更新で多彩なアニメーションを表示し、近・中距離の安全なコミュニケーションを担う「HD Digital

signaling」と、AIが走行環境を判断し最適な明るさに自動調整することで消費電力を大幅に削減する「Just in Light」です。

また、2030年のCO₂削減目標に向け、ランプを構成する主要樹脂をリサイクル材やバイオ由来材へ切り替える取り組みも紹介し、実製品を用いた展示で高い実用性をアピールしました。

ICHIKOHは引き続き、技術革新を通じて持続可能かつ安全なモビリティ社会の実現に貢献してまいります。



HD Digital Signaling

会社情報

会社概要 (2026年6月30日現在)

商号 市光工業株式会社
設立 1939 (昭和14) 年12月20日
資本金 9,031,346,626円
従業員数 連結 2,664名 (1,114名)
単体 1,354名 (616名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は()内に期間中の平均人員を外数で記載しています。

本店 〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地
TEL 0463(96)1451 FAX 0463(96)2080

ホームページの案内 会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。
<https://www.ichikoh.com/>

取締役および監査役 (2026年6月30日現在)

代表取締役社長 ヴィラット クリストフ 社外取締役 佐川明美
代表取締役副社長 宮下和之 社外取締役 リエナール フランソワ ザビエ
取締役 マルテネッリ マウリッツオ 常勤監査役 高森正樹
取締役 ペレス ラウール 社外監査役 鶴巻 暁
社外監査役 ジュアス ジャンイヴ

株式の状況 (2026年6月30日現在)

発行済株式の総数 96,486,457株
発行可能株式総数 200,000,000株
株主数 7,707名
大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
VALEO MANAGEMENT	58,791	61.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,804	4.98
BNP PARIBAS MADRID/2S/JASDEC/SPANISH RESIDENTS/UCITS ASSETS	3,718	3.86
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,954	3.06
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	2,392	2.48
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,449	1.50
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	1,041	1.08
日本生命保険相互会社	988	1.02
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	813	0.84
ゴールドマン・サックス証券株式会社 BNYM	781	0.81

(注) 1. 持株比率は自己株式 (182,047株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
3. 株式会社日本カストディ銀行の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、2,954千株であります。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
剰余金配当支払株主確定日 毎年12月31日
中間配当支払株主確定日 毎年6月30日
基準日 毎年12月31日
(そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法 当社ホームページ <https://www.ichikoh.com/>
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

単元株式数 100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。